

大洲

青島ネコ対象 不妊去勢開始

2018年10月4日(木) (愛媛新聞)

ネコが多い島として有名な愛媛県大洲市の青島の住民でつくる「青島猫を見守る会」は3日、公益財団法人「どうぶつ基金」(兵庫県)や市の支援を受け、島のネコを対象にした不妊・去勢手術をした。約170匹を手術する計画。

市市民生活課によると、青島の島民10人(9月末現在)に対し、ネコは市推定で210匹以上(3日時点)。住民の間では増えたネコの近親交配や感染症への懸念のほか、高齢化により将来的に世話が難しくなることなどから、会が昨年7月、手術に向けた支援を市に要望した。市は獣医師の渡航・宿泊費用など約36万円を負担する予定。

2日に獣医師や基金、市の関係者ら約20人が島に渡り、ネコの捕獲を開始。手術は3日午前から同市長浜町青島の市青島コミュニティセンターで行った。手術は2日間行う計画だったが、4日の定期船最終便が悪天候のため欠航する恐れがあり、3日で終わらせる方針に変更した。

キーワードで関連記事を検索できます

大洲市 (場所)